

スポーツ施設の整備について

【担当省庁】文部科学省、国土交通省

京都府の専用球技場の整備事業の「スポーツ振興くじ助成金交付事業」への採択

- ◆ 京都府では、青少年のあこがれの舞台となるよう専用球技場の整備を進めており、「スポーツ振興くじ助成金交付事業」に採択していただきたい。

京都府立丹波自然運動公園、京都府立山城総合運動公園などの整備のための社会資本整備総合交付金等の予算額の確保

- ◆ 京都府では、京都府立丹波自然運動公園においてジュニアアスリート（中高生）の育成拠点施設の整備、京都府立山城総合運動公園において幅広い府民のスポーツ活動拠点施設の整備を進めており、国において、「社会資本整備総合交付金」、「学校施設環境改善交付金（社会体育施設）」及び「スポーツ振興くじ助成金交付事業」について十分な予算額を確保していただきたい。

京都府の現状・課題等

◎ 専用球技場の整備

目的

- 国際的、全国的な試合に対応でき、多種目にも対応できる専用球技場を整備する。
 - スポーツを通じた青少年の健全育成（青少年の夢となる施設）
 - 防災機能など複合的な機能も想定

整備場所

亀岡市

整備概要

- 収容規模 25,000人（J1レベル）
- 用途 サッカー、ラグビー、アメフトの専用球技場
- 全席屋根付き
- 整備スケジュール 基本設計・実施設計 平成 25、26 年度（予算概算 約 3 億円）
建築工事 平成 27、28 年度（予算概算 約 120 億円）
- 京都サンガがホームスタジアムとする予定

◎京都府立運動公園の整備

京都府立丹波自然運動公園及び山城総合運動公園において施設再整備計画を策定

■京都府立丹波自然運動公園 「京都トレーニングセンター構想」

丹波自然運動公園内の恵まれた自然環境を生かし、中学・高校生を中心としたジュニア競技者の育成拠点として、トレーニング機能を付加する施設を宿泊棟と合築で再整備

施設概要

▷ トレーニング機能、交流・指導機能、宿泊機能が一体となった施設

- ・ トレーニング機能：フィジカル、体力測定、動作分析
- ・ 交流・指導機能：メンタルサポート、栄養アドバイス、スポーツドクター派遣、ボディケア
- ・ 宿泊機能：300人収容

事業年度 平成25～26年度

事業費 1,619,000千円(国庫255,200千円)

<主な再整備施設>

- ・ トレーニングセンター(宿泊棟合築)(再掲)
 - ・ 陸上競技場第2種公認化整備
 - ・ テニスコートの屋根設置
 - ・ グラウンドゴルフ場整備
 - ・ 補助競技場の人工芝化
- 平成26～30年度で実施予定
事業見込 約15億円

■京都府立山城総合運動公園 「京都スポーツヒル構想」

広大な園地や都市近郊に立地していることから、府民のスポーツ活動拠点として、新たなニーズに応える施設の再整備

<主な再整備施設>

- ・ 陸上競技場のスタンド屋根設置
 - ・ 総合クラブハウスの設置
 - ・ テニスコートの屋根設置
 - ・ 陸上競技場の夜間照明設備の設置
 - ・ 第2競技場の人工芝化
- 平成26～30年度で実施予定
事業見込 約10億円

■広域防災拠点としての運動公園

上記の両運動公園については、広域防災拠点に位置づけ、警察や消防、自衛隊の救助部隊の集結場所、救援物資の集積配送場所として活用することとしている。

【京都府の担当部局】

文化環境部スポーツ振興室 075-414-4252

建設交通部都市計画課 075-414-5272